

平成29年第2回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

平成29年5月30日（火）～6月1日（木）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
5月30日	日本共産党 宝塚市会議員団	田中 こう 議員	150分	9:30～12:00
	公明党議員団	江原 和明 議員	150分	13:00～15:30
	ともに生きる 市民の会	大島淡紅子 議員	135分	15:50～18:05
5月31日	自民党議員団	富川晃太郎 議員	150分	9:30～12:00
	安全で誇れる 宝塚をつくる会	北山 照昭 議員	150分	13:00～15:30
6月1日	市民ネット宝塚	寺本 早苗 議員	120分	9:30～11:30
	新風改革の会	大川 裕之 議員	120分	12:50～14:50

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発言事項及び発言者
1	<p>1 市民の「いのちとくらし」を守るために</p> <p>(1) 生活困窮者の早期発見・早期支援の具体的な取り組みは</p> <p>(2) 相談者、利用者に寄り添った生活保護行政を</p> <p>(3) 国民健康保険税は支払い可能な金額と考えているのか</p> <p>(4) 国保の都道府県化による影響は</p> <p>(5) 市立病院の医療提供体制の充実について</p> <p>ア 医師数、救急受入件数の推移</p> <p>イ 今後、拡充予定の診療科は</p> <p>ウ 患者総合サポートセンターについて</p> <p>(6) 手話への理解促進の具体的な取り組みは</p> <p>(7) 不転の決意で臨む行財政改革が福祉や社会保障に与える影響は</p> <p>2 高齢者も現役世代も安心できる公的制度を</p> <p>(1) エイジフレンドリーシティ・高齢者にやさしいまちづくりについて</p> <p>(2) 認知症対策について</p> <p>3 子どもの健やかな成長を大切に</p> <p>(1) 現在の保育所待機児童数と保育施設の新設整備について</p> <p>(2) 私立保育所助成金の継続実施を</p> <p>(3) 公立保育所の改修工事計画は</p> <p>(4) 保育料の負担軽減を</p> <p>(5) 山手台小学校放課後児童クラブの専用棟建設について、今後の方針は</p> <p>(6) 子どもの医療費無料化の拡充を</p> <p>4 一人ひとりを大切にする教育を</p> <p>(1) 地域コーディネーターとコミュニティ・スクールが果たす役割は</p> <p>(2) いじめ対策と不登校支援について</p> <p>(3) 学校給食の無償化に向けて</p> <p>(4) 就学援助の拡充を</p> <p>(5) 教職員の業務改善の取り組みは</p> <p>(6) 学校トイレの洋式化について</p> <p>(7) 市立幼稚園統廃合計画は、どのように進められるのか</p> <p>5 安心安全のまちづくりを</p> <p>(1) 幹線道路整備の基本方針について</p>

	<p>(2) 公園リノベーション事業について</p> <p>(3) 仁川山手地域バスについて</p> <p>ア どのようなダイヤ改正と路線延伸になるのか</p> <p>イ 運賃改定はあるのか</p> <p>(4) 空家対策について</p> <p>(5) 防犯カメラ設置における市と自治会等の地域団体の役割分担とは</p> <p>6 中小業者の営業とくらしを守り、安定した雇用の拡大を</p> <p>(1) 市内事業者の積極的な設備投資に対する支援について</p> <p>(2) 市内で製造、加工及び提供される優れた商品・サービス等の販路拡大支援について</p> <p>(3) 働く意欲を持つ全ての人の雇用、労働環境の向上について</p> <p>(4) 公契約条例について</p> <p>7 憲法を守り、平和と人権が尊重される市政を</p> <p>(1) 市民の中に憲法を</p> <p>(2) 中川市長就任以降の兵庫県下における平和首長会議と非核宣言自治体協議会への加入状況について</p> <p>(3) ハラスメントによる人権侵害をどう防ぐのか</p> <p>(4) 性的マイノリティの人たちの人権と生活向上のために</p> <p style="text-align: right;">(日本共産党宝塚市会議員団 田中 こう 議員)</p>
2	<p>1 平成29年度施政方針に関して</p> <p>(1) 都市経営</p> <p>ア 地域ごとの地域自治の基盤を構築するための職員体制について</p> <p>イ 公共施設保有量を最適化するための個別施設計画の策定について</p> <p>ウ 公共施設を民間運営の活用等でトータルコスト削減の具体的数値について</p> <p>(2) 安全・都市基盤</p> <p>ア 新庁舎に危機管理センターを設置する時期について</p> <p>イ 仁川山手地域ミニバスの試験運転について</p> <p>(3) 環境</p> <p>ア 再生可能エネルギー導入効果と小水力発電の事業化の検討について</p> <p>イ 新ごみ処理施設の整備について</p> <p>ウ 市営霊園の一体化で財政健全化が可能なのか</p> <p>(4) 北部地域について</p> <p>ア 市街化調整区域を堅持しつつ、土地利用規制の弾力化を図るため、新たに策</p>

定する北部地域土地利用計画について

2 平成28年度施政方針に含まれた事業の結果

- (1) 空家等対策計画について
- (2) 親との同居・近居のための購入資金一部助成の現状
- (3) 防災行政無線整備の現状
- (4) 宝塚北サービスエリア整備に合わせての、名産品販売、新たな特産品の現状
- (5) 学校規模適正化検討委員会の進捗状況について
- (6) 名称はがん治療センターから（仮称）がんセンターとなり、来年4月開設に向けて準備状況はどうか

3 市政の課題について

- (1) 平成28年度国民健康保険事業の赤字解消の要因分析について
- (2) 文部科学省要保護児童生徒援助費補助金通知に関して
 - ア 就学援助費の入学前支給への見直し
- (3) 国土交通省住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（住宅セーフティネット法）の一部改正に関して
- (4) 兵庫県の（新）訪問看護師・訪問介護員の安全確保・離職防止対策事業について
- (5) 文化芸術施設建設に向けての財政支援団体などの検討は
- (6) 観光プロムナードにおける新宝塚ホテル建設計画に関連して
- (7) 災害時の紙カップ式自動販売機の設置について
- (8) 武庫川サイクリングロードにつながる、宝塚市域の河川敷舗装通路について

（公明党議員団 江原 和明 議員）

3 1 これからの都市経営について

- (1) 「市職員がまちに出向き、市民の生の声を聴き、対話を重ねる」協働のまちづくり
 - ア 具体策は
 - イ きずなの家事業の位置づけは
- (2) 新庁舎・ひろば整備において、社会福祉法人阪神福祉事業団・宝塚健康福祉事務所（保健所）・阪神シニアカレッジが、市役所隣接地に設置されることでのメリット及び今後の連携をどう考えるか

2 安全・都市基盤について

- (1) 福祉避難所について

- ア 受入対象者は
- イ 受入側の体制は整備されているのか
- ウ 今後の福祉避難所増設計画は
- エ 「福祉避難所」の概念や場所を知らない市民が多すぎる、今後の周知方法は

3 健康・福祉

- (1) 「エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画を市民・各種団体・事業者などと協働で取り組む」とあるが、行政各課の横断的連携はどうとるのか
- (2) 認知症対策について
 - ア 軽度認知障害（MC I）への取り組みは
 - イ 家族会との連携や支援は
- (3) 地域包括ケアシステムについて
 - ア 対象者をどう捉えているか
 - イ 連携は重要だが、どこがリードするのか
- (4) 「障がい者差別解消及び手話の普及に向けた更なる取組」の、具体的な内容は
- (5) 市民福祉金について
 - ア 見直しの理由としての、「課題の解消」「事業充実のための新基金創設」とは
 - イ 母子・父子・遺児については、「子どもの生活についてのアンケート調査」を踏まえるようだが、障がい者の生活実態調査は行わないのか

4 教育・子ども・人権

- (1) 学校規模適正化検討委員会の進捗状況は
- (2) 就学前児童への施策
 - ア 市立幼稚園の統廃合計画及び園の保護者や地域との話し合いの状況は
 - イ 統廃合後の通園手段としてのバス運行は
 - ウ 市民ニーズとして、就学前児童に対する施策の需要は高まっている
事業を縮小するのではなく、市民ニーズに応える事業に改善すべきと考えるが
- (3) 放課後児童健全育成事業について
 - ア 新たに建設される、山手台小学校放課後児童クラブ専用棟の運営主体は
 - イ ある民間放課後児童クラブの運営主体が変わった、市の対応に問題はなかったか
 - ウ 運営方法や児童の支援についての現場との連携強化をどう考えるか
- (4) 「子どもの生活についてのアンケート調査」の具体的な内容は
- (5) 「ありのままに自分らしく生きられるまち」実現のために、事業者への啓発方法は

5 環境

(1) 再生可能エネルギー促進のための事業者への働きかけの現状と今後の取り組みは

(2) 新ごみ処理施設の整備について、場所の決定、地域住民への説明のスキームは

6 観光・文化・産業

(1) 文化芸術施設・庭園整備事業の運営やプロデュースに関する計画は

(2) 手塚治虫記念館入館者数増加の取り組みは

(ともに生きる市民の会 大島 淡紅子 議員)

4 1 これからの都市経営

(1) 住民自治組織支援事業により、どのように地域自治の確立を図るのか

(2) どのように、人材育成において職場環境の整備に取り組み、組織全体の活性化を推進するのか

(3) 宝塚市水道事業経営戦略において赤字の計画が示されているが、阪神水道企業団への加入も含め今後どのように経営健全化を図っていくのか

2 安全・都市基盤

(1) 安全・安心カメラ設置事業について、どのように市と自治会等の地域団体が協働し役割分担のもと設置していくのか

(2) 道路網整備計画策定事業は何カ年計画策定を想定しているのか

(3) 北部振興企画事業により自然休養村センターを北部地域の行政拠点として再整備するとのことですが、北部地域現存の行政公共施設はどのような位置づけになるのか

3 健康・福祉

(1) 子育て世代の流入のための自治体間競争もあるようですが、近隣他市と比較し本市が特化している部分はどこか

(2) エイジフレンドリーシティ宝塚の今年度の具体的取り組みの状況は

(3) 障がい者福祉における、手話の普及はどのように実施していくのか

(4) 新病院事業管理者の所信は

(5) 宝塚市立病院改革プラン2017により、どの部分が改革されるのか

(6) 断らない救急が近隣病院でも普及していく中、具体的傾向とその対応は考えられているのか

(7) 患者総合サポートセンターとはどのような構想なのか

4 教育・子ども・人権

- (1) 教育委員会理事とはどのような位置づけ・職責なのか
- (2) 市立幼稚園の小規模化が著しい園とは
- (3) 市立幼稚園の3年保育の有益性はどこにあるのか、また将来展望についてどう考えているのか
- (4) 幼稚園空調設備事業の今年度の取り組みと今後の展望は
- (5) 宝塚自然の家ではどのようなイベントを試行するのか

5 環境

- (1) 宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画は平成36年度の稼働を目指す中で、いつまでに策定される予定なのか
また、その後の稼働までの基本的なスケジュールはどう考えられているのか
- (2) 市営霊園全体の財政健全化にどのように取り組むのか
- (3) 公園リノベーションではどのような施設改修を想定しているのか
- (4) 北雲雀きずきの森緑地環境整備事業では、周辺施設等含めどのような環境構想を持っているのか

6 観光・文化・産業

- (1) 文化芸術施設・庭園整備のオープンに向けての、本市の文化芸術の創造・発信拠点としての内容とはどのようなものなのか
- (2) オープン後の管理体制は十分に検討できているのか
- (3) オープン後の資金需要も十分に検討できているのか
- (4) 北部地域土地利用計画の基本的な考え方は
- (5) 特産品・加工品の開発のための農業分野との連携とは、どのような可能性があると考えているのか
- (6) 植木のまち宝塚をどのように魅力的に情報発信していくのか

7 行財政改革

- (1) 施政方針で歳入の規模に応じた歳出にする必要があると表現されておられますが、その観点から本年度の予算規模、特に歳出をどのように評されているのか
- (2) 全ての事務事業について点検し、市民の理解を得ながら、スクラップアンドビルドの実施をしていくとの施政方針ですが、どの事業からスクラップしていこうと考えているのか
- (3) 市民・企業との公民連携を推進し、市民サービスの向上と効率化を両立するには、具体的にどのような公民連携なのか

(自民党議員団 富川 晃太郎 議員)

<p>5</p>	<p>1 安全で安心できる宝塚のまちづくりについて</p> <p>(1) 土砂災害危険箇所（急傾斜地）と災害防止対策について</p> <p>ア 月見山2丁目・中山台1丁目の対策予算計上と工事実施について</p> <p>イ 今年度の市有地調査と民有地の対策（特にA判定11箇所）について</p> <p>(2) 兵庫県の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定について</p> <p>(3) 南ひばりガ丘地区の浸水対策について</p> <p>ア 新たな最明寺川への放流バイパスの敷設はどうなったのか</p> <p>イ 「外水位の影響が小さい場合の対策」の対策工とは</p> <p>ウ 口谷一号雨水幹線下流側（川西側）の排水容量のアップについて</p> <p>(4) ゲリラ豪雨や梅雨時期の集中豪雨の対策について</p> <p>2 「入るを量りて出ざるを制する」について</p> <p>(1) 平成29年度予算の執行等について（通知・3月31日付）</p> <p>(2) 平成28年度末における国からの交付税・交付金などの大幅な減額について</p> <p>(3) 基金の積立残高の大幅な減少について</p> <p>(4) 「事業の廃止や見直しを、心を鬼にして進める」（記者会見）とスクラップアンドビルドについて</p> <p>3 土木・建築設計のあり方、ライフサイクルコストについて</p> <p>(1) ナチュラルスパ宝塚やステップハウスなどの維持管理について</p> <p>(2) LCCの分析と評価が、まず今こそ必要ではないのか</p> <p>宝塚ガーデンフィールズ、新庁舎など</p> <p>4 「先送り」にされてきた課題、決断を必要とするいくつかの施策について</p> <p>(1) 「宝塚自然の家」と「小浜工房館」のあり方について</p> <p>(2) 区域外就学制度の拡充、小中一貫校の導入、児童・生徒の減少対策について</p> <p>(3) 市立幼稚園3年保育導入と中山台地区の対策について</p> <p>(4) 「市長会見で『市民福祉金』の廃止も検討」の報道について</p> <p>(5) 都市計画道路荒地西山線の苦い教訓と競馬場高丸線の整備について</p> <p>(6) 20年先を見据えた、ごみ焼却炉の整備用地と事業方式について</p> <p>(7) 「塩漬け用地」について</p> <p style="text-align: right;">（安全で誇れる宝塚をつくる会 北山 照昭 議員）</p>
<p>6</p>	<p>1 地方を取り巻く状況について</p> <p>(1) 国の動向と地域創生について（政府の財政政策・地方財政計画）</p>

2 市政運営の基本方針について

(1) 財政状況への認識について

(2) 健全な財政運営に向けて

ア 事務事業の点検、スクラップアンドビルド、市民・企業との公民連携をどう進めるのか

3 これからの都市経営について

(1) 地域自治と協働のまちづくりについて

(2) 第2次宝塚市行財政運営に関する指針及びアクションプランの取組状況について

(3) 「公共施設の建設や運営等に民間事業者の経営能力や技術的能力を活用」とあるが、具体的に

4 健康・福祉

(1) 母子保健コーディネーター事業及び産前・産後サポート事業の成果について

(2) エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画に基づいた取り組みについて

(3) 認知症高齢者等への支援体制について

(4) 市立病院における患者総合サポートセンターの構築について

(5) 地域包括ケアシステムの確立について

5 教育・子ども・人権

(1) 教育委員会に「理事」を置く目的は。独立性は守られるのか

(2) 学校規模適正化の進捗状況と今後について

(3) 仁川幼稚園・長尾幼稚園における3年保育の実施に向けて

(4) 地域コーディネーターの役割について

(5) コミュニティ・スクール指定に向けた取り組みについて

(6) 教育現場における性的マイノリティの子どもへの支援について

(7) (仮称)宝塚市立中央公民館のコンセプトと管理運営体制について

ア 社会教育施設として機能するための管理運営体制か

(8) 保育施設における待機児童の現状と解消策について

(9) 放課後児童健全育成事業における待機児童の発生見込みと対策について

(10) 男女共同参画施策の推進について

6 環境

(1) 宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画について

(2) 再生可能エネルギー比率の向上に向けた事業について

ア 小水力発電の事業化は現実的か

7 観光・文化・産業

(1) 文化芸術施設・庭園整備事業について

- ア あらためて文化芸術の活動・発信拠点としての整備方針を問う
- イ 事業目的と管理運営体制、事業費の考え方について

(2) 観光プロムナード一帯の魅力づくりについて

- ア 観光花火大会に代わる魅力的なイベントを

(市民ネット宝塚 寺本 早苗 議員)

7 1 市政運営の基本方針について

(1) 8年間の総括と今後の展望について

- ア 財政・行革について
- イ 市立病院について
- ウ 庁内体制・組織運営について
- エ 自治体間連携について

(2) 「全ての事務事業について点検し、…スクラップアンドビルドを実施」とあるが、これまでの事務事業評価等の取り組みをどう評価するか

また、その取り組みのどこをどう変えて、効果を上げるのか

- (3) これまで本市で培われた文化芸術が新たな大型施設によって、さらに発展していくストーリーが想定されていると考えるが、それはどのようなものか
- (4) 花火大会の復活について、どのような方策を持っているのか

2 主要な施策について

(1) これからの都市経営

- ア 協働のまちづくりにおいて、職員がまちに出向いているが、そこでの情報等を庁内で共有し対応するための仕組みは構築できているのか
- イ 職員の能力が十分に発揮できる職場環境とはどのようなものか
- ウ 公共施設の床面積削減はどの程度進んでいるのか、6.2%削減は確実に達成できると考えているのか
- エ NTN跡地やガーデンフィールズ跡地の大規模開発によって新たに生じる管理費等について、それらを減らすための方策は検討されているのか
実際、どれくらい減らすことができるのか

(2) 安全・都市基盤

- ア 効率的で効果的な幹線道路整備の基本方針の策定が、どのように渋滞緩和に寄与するのか

(3) 健康・福祉

- ア 高齢化の進展に伴い、認知症高齢者等が増加すると考えられるが、それに伴

い顕在化する課題は何か、行政が担うべき役割とは何か

(4) 教育・子ども・人権

ア 学校規模適正化検討委員会等での議論は多岐にわたると予想される

「子どもの教育環境の向上」をメインに議論すべきだと考えるが、どのように考えるか

イ コミュニティ・スクールの指定について、具体的に想定されているものはあるのか

ウ 学校トイレの洋式化について、対象校の優先順位の決め方は
また、全校実施時期をどう想定しているのか

エ 保育施設の新設整備とあるが、具体的に想定されているものはあるのか

(5) 環境

ア 民間の墓地経営では、どのような仕組みで利益を出しているのか、市の墓地経営との違いは何か

(6) 観光・文化・産業

ア 現在、来年春の新名神高速道路とサービスエリア及びスマートインターチェンジの供用開始に向けて、西谷地域にどの程度民間投資が行われているのか

(新風改革の会 大川 裕之 議員)